

事業報告書

まえがき

中小企業を取り巻く経営環境は、国の経済政策により、景気は内需を中心に回復基調にあるものの、少子高齢化等に伴う国内市場の縮小、原材料価格や燃料価格の高騰、消費増税による価格転嫁への対応など、依然として厳しい状況が続いています。

当センターの事業運営に当たりましては、これらの社会経済環境の変化を踏まえ、県内産学官金33機関が結集する「とちぎ産業振興ネットワーク」の中核的支援機関としての機能強化を図り、下記の重点目標に沿って県内中小企業の直面する課題の支援に努めて参りました。

- 1 企業との対話、現場への訪問を通じて、真の企業ニーズを把握し、迅速かつ的確な支援の充実
- 2 地域の大学や金融機関、商工団体等とのさらなる連携・協力による中核的支援機関としての機能強化
- 3 情報の共有と自由闊達な議論により、自ら考え、行動し、自己革新を続ける職場風土の醸成

具体的には、創業や経営革新の支援、地域資源の活用や農商工連携等による新商品・新サービスの研究開発助成、産学官金の連携、人材育成、情報化、販路開拓、知的財産活用などの各種事業を推進するとともに、新たに「海外ビジネス支援事業」や国の「地域需要創造型等起業・創業促進事業」の地域事務局の受託等にも取り組んで参りました。

この結果、平成25年度の事業計画は概ね達成できましたが、今後とも栃木県をはじめ関係機関との連携を密にして、一層の企業支援に邁進して参ります。

各事業の実施状況につきましては、次のとおりです。

I 公益目的事業

(公1) 創業や新分野展開などの新事業の創出促進を図る事業

1 総合相談事業

(1) コーディネート活動促進事業

新事業起こしや経営革新に取り組む企業等への支援を効果的に実施するため、企業等からの総合的な相談窓口としてマネージャー（6名）を配置した。

相談状況

① 業種別 (単位：社、%)

項目	業 種						計
	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス	その他	
H25.4～ H26.3	519 (48.5)	24 (2.3)	30 (2.8)	55 (5.1)	138 (12.9)	304 (28.4)	1,070 (100.0)

注：（ ）内は構成比

② 相談内容別 (単位：件、%)

項目	主 な 相 談 内 容								計
	マーケ ティング	資金	技術	ビジネス プラン	経営 全般	ISO	事業 連携	その他	
H25.4～ H26.3	325 (23.3)	319 (22.9)	174 (12.5)	118 (8.5)	82 (5.9)	15 (1.1)	14 (1.0)	345 (24.8)	1,392 (100.0)

注：1（ ）内は構成比

- 2 相談者の相談内容が複数分野にわたる場合があるので、業種別相談企業数と一致しない。
- 3 「その他」は、労務、IT、省エネ、法律、会社設立、税務、特許、取引適正化である。

(2) 中小企業・小規模事業者ビジネス創出等支援事業【新規】

中小企業等の高度・専門的な経営課題の解決を支援するため、国（中小企業庁）が実施する「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」の専門家派遣制度を活用し、県内中小企業等の経営課題や相談ニーズにきめ細かく対応できるよう経営支援体制の充実を図った。

- ① 地域プラットフォームの設置（登録日：平成25年7月25日）
- ② 地域プラットフォーム名称：とちぎ産業振興ネットワーク（構成機関33機関）
- ③ 中小企業支援施策情報の発信 随時
- ④ 連絡会議の開催 9月19日、3月12日
- ⑤ 専門家派遣

派遣企業数（回）	主 な 支 援 内 容
55社（137回）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 販路拡大、販売促進支援 デザイン視点からの商品開発 ○ 経営課題解決支援 事業計画立案に関するアドバイス ○ 事業承継支援 土木工事業への事業転換及び事業承継に係る課題抽出と対応策

2 新事業創出の促進

(1) 創業準備支援事業

県内の創業希望者に対して、各種相談、事業計画の作成支援などにより創業を促進した。

① 創業希望者交流サロン

回	開催月日	参加者数	内 容
1	7. 21	25	・ 講演（講師：(株)キッズコーポレーション 代表取締役 大塚雅斗氏） 「ベンチャー！ベンチャー？アドベンチャー?!」 ・ ランチ交流会
2	9. 8	16	・ ミニ創業塾 「創業する際に役立つ実務基礎知識」 ・ 創業実践相談会
3	10. 6	8	・ ミニ創業塾 「創業する際のヒント」 ・ 創業実践相談会
4	11. 3	17	・ 事業アイデア発表会 ・ ランチ交流会 ・ 創業実践相談会

② 創業サポートアカデミー

創業を強く希望する者10名を募集し、ビジネスプランのブラッシュアップを支援するほか、専門家が経営実務に関するアドバイスをを行った。

回	開催月日	参加者数	内 容
1	10. 19	8	・ 講義（講師：(株)フューチャー 代表取締役 菅井あや子氏） 「経営ビジョンと戦略の構築」
2	11. 2	8	・ 個別相談（経営全般、マーケティング） ・ 専門家相談会
3	11. 16	7	・ 個別相談（経営全般、マーケティング） ・ 専門家相談会
4	11. 30	8	・ 金融機関職員等へのプレゼンテーション

(2) ベンチャーオフィス連携強化事業

県内のB I（ビジネスインキュベーション）関係者が連携し、各施設入居企業を支援した。

- ・ 入居審査会・運営委員会 8回
- ・ 定例会の開催 11月15日 とちぎ産業交流センター 大研修室
- ・ 合同研修会の開催 12月25日 MONO、東京都立産業技術研究センター視察

(3) ベンチャー中小企業等支援人材育成事業

（一財）日本立地センターが実施する「IM（インキュベーション・マネージャー）養成研修シリーズ」に職員を派遣し、創業者や新事業に取り組む企業等を支援する人材を育成した。

- ・ 派遣職員 1名
 [スクーリング] 前期： 6月12日～ 6月14日
 [スクーリング] 後期：11月28日～11月29日
 [OJT] 7月25日～ 7月26日
- ・ 実施場所：福島駅西口インキュベートルーム

(4) インキュベート・研究開発室運営事業

創業や新たな研究開発に取り組む企業等の初期投資軽減を図るため、とちぎ産業交流センター貸事務室を借り受け、入居料の一部を助成した。

- ・ 11月 2企業・2室 12月～3月 1企業・1室

(5) 地域需要創造型等起業・創業促進事業

「地域需要創造型等起業・創業促進事業」栃木県事務局として、中小企業基盤整備機構から受託し、起業・創業を促進するために新たな需要の創造や雇用の創出を図り、地域経済の活性化を図った。

また、遠方の相談希望者に対応するため、県北、県南、両毛の3会場において個別相談会を開催した。

【個別相談会】

開催月日	会場	相談件数	開催月日	会場	相談件数
5.21	栃木県下都賀庁舎	3	10.8	栃木県塩谷庁舎	1
5.28	栃木県足利庁舎	2	10.15	栃木県下都賀庁舎	0
6.11	栃木県塩谷庁舎	0	10.22	栃木県足利庁舎	2
6.18	栃木県下都賀庁舎	3	11.12	栃木県塩谷庁舎	4
6.25	栃木県足利庁舎	4	11.19	栃木県下都賀庁舎	2
7.9	栃木県塩谷庁舎	0	11.26	栃木県足利庁舎	1
7.16	栃木県下都賀庁舎	2	12.10	栃木県塩谷庁舎	1
7.23	栃木県足利庁舎	0	12.17	栃木県下都賀庁舎	1
8.13	栃木県足利庁舎	0	2.20	栃木県下都賀庁舎	0
8.20	栃木県下都賀庁舎	0	2.27	栃木県足利庁舎	0
8.27	栃木県塩谷庁舎	2	3.13	栃木県塩谷庁舎	1
9.10	栃木県塩谷庁舎	1	3.20	栃木県下都賀庁舎	2
9.17	栃木県下都賀庁舎	0	3.27	栃木県足利庁舎	1
9.24	栃木県足利庁舎	2			

・採択件数

- ① 創造型起業・創業 93件
- ② 第二創業 10件
- ③ 海外需要獲得型起業・創業 2件

計 105件

(6) 新事業活動ネットワーク形成支援事業

新事業活動に取り組む事業者を対象とした交流会をテーマ別に開催し、新事業活動における企業間ネットワークの形成を促進した。

- ・第1回 11月20日(水) 場所: 県庁9階 会議室3 参加者: 14社15名
講演会: 「異分野との連携による新事業分野開拓について」
講師: 兵庫県立大学大学院 客員教授 勝瀬 典雄
意見交換会: 各社の事業内容及び今後の事業展開の方向性について自己紹介を兼ねて発表
- ・第2回 12月4日(水) 場所: 県庁研修館 402研修室 参加者: 11社12名
講演会: 「新連携事業について」
講師: (独)中小企業基盤整備機構 地域活性化支援アドバイザー 小松原 武雄
意見交換会: 各社が今後の取組む分野等について8社が発表し、参加者から質疑応答及び連携の可能性を模索した。
- ・第3回 12月18日(水) 場所: 栃木県総合文化センター(ギャラリー棟3F)
第3研会議室 参加者: 11社12名
意見交換会: 前回発表の残り6社が今後の取組む分野等について発表し、参加者から質疑応答及び連携の可能性を模索した。

(7) とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業(創業・新事業展開推進事業)

中小企業者及びそのグループ、産業支援機関等が行う、地域社会と密接に関わる商業・サービス業等の創業や新たな事業展開に要する経費の一部を助成した。

助成状況

No.	企業名	事業区分	事業名称	交付決定額(千円)
1	(株)夢創造	地域資源活用 スタートアップ事業	那珂川町の地域産業資源「温泉トラフグ」による減臭気魚醤の製造開発・販売	1,887
2	米山そば工業(株)	地域資源活用 スタートアップ事業	日光寒ざらし蕎麦の生産効率の確保と更なる高品質化への製法の確立	1,620
3	(株)中島園	地域資源活用 スタートアップ事業	宇都宮市産の柚子を使用した『柚子入り緑茶』	1,022
4	(株)アルファイン	地域資源活用 スタートアップ事業	「マメメメしいのにニクらしい」大豆肉商品の開発	2,000
5	とちぎユース ワークカレッジ	創業支援事業	立ちすくむ栃木の若者を社会につなぎ、若者と栃木の未来を開くカレッジ	1,015
6	空き家再生 プロジェクト	創業支援事業	峰町空き家再生プロジェクト～起業家と街をつなぐ～	1,400
7	益子町観光協会	商店街・温泉街の 活性化助成事業	「益子サポーターズクラブ」開設における城内坂商店街のホスピタリティ向上による活性化事業	1,629
8	矢板市商店会 連合会	商店街・温泉街の 活性化助成事業	まちなかフラッグデザインコンテスト&POPで集客・売上アップ大作戦	974
9	益子町商工会	商店街・温泉街の 活性化助成事業	商店街合同チラシ、100円市及び子供達による商店街再生事業	900

No.	企業名	事業区分	事業名称	交付決定額 (千円)
10	(株)テラサキ	建設業新分野進出 助成事業	真砂土とドロマイトを原料とした土系舗装材の新製品の研究・開発	1,255
	計			13,702

(8) ビジネスプラン応援事業

事業可能性評価を受けた事業計画について、市場調査／コンサルティングに要する経費の一部を助成した。

- ・ 事前相談会 1月20日（3社）※市場調査は実施されなかった。

(9) 販路支援事業（市場展開支援事業）

新しい商品やサービスの市場展開を支援するため、販路開拓の実務経験を有する商社OB等で構成するNPO法人と連携し、取引先の紹介や市場展開に関するアドバイスを実施した。

- ・ 無料相談会 2回 相談企業数 10社

(10) 貿易相談事業

海外に取引を拡大しようとする企業のための相談事業を実施した。

- ・ 相談日数 24日（月2回）
- ・ 相談状況

相談件数	相談事例
23件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外との取引を検討していく上で、考えられるリスクや海外との取引注意事項を知りたい。 ○ 日本の食品、雑貨など良いものを海外へ紹介・販売し、海外の食品、雑貨を輸入したいがどのように輸送したら良いのか。 ○ 中国側荷主が為替で損失が出たため補填依頼があったが、どうするべきか。また、税関の事後調査について教えてほしい。 ○ 南米ペルー向けに中古機械を送りたい。輸出の基本的な流れと為替リスクについて知りたい。 ○ 廃プラスチック材を中国やベトナムへ輸出する場合の経路や販路について相談したい。

(11) 企業OB活用「メンターグループ」事業

研究開発や経営に関する豊富な経験を有する企業OB等をメンターとして登録し、企業が抱える様々な課題に対し、現場においてアドバイスや指導を行った。

- ・ 登録メンター数（3月31日現在） 86人

派遣企業数（人日）	支援事例
31企業 （260人日）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 方針管理の仕組みの構築（仕上げ）の指導 ○ 5S（整理・清掃・整頓・清潔・躰）の実践指導 ○ タック紙を別メディアに貼り合わせる装置の開発 ○ 温泉を使った新たな化粧水の製造販売 ○ ITを活用した事業広報・販売促進

(12) 中小企業応援キャラバン事業

地理的・時間的理由により、振興センターの利用が難しい中小企業の相談に応じるため、県内各地域に相談チーム（中小企業応援キャラバン）を派遣した。

【キャラバン隊】

開催月日	会 場	開催月日	会 場
5. 13	大田原信用金庫	2. 7	小山商工会議所
10. 2	那須信用組合	2. 14	足利商工会議所
11. 5	矢板市商工会	2. 17	足利銀行
11. 18	とちぎニュービジネス協議会	2. 18	佐野商工会議所
12. 11	足利銀行	2. 21	足利銀行
12. 11	矢板市金属工業会	3. 5	足利銀行
2. 3	大田原商工会議所	3. 20	栃木県商工会連合会

【個別相談会】

相 談 会 名	開催月日	会 場	参加企業数
H24 補正円高・エネルギー制約対策事業個別相談会	5. 29	とちぎ産業交流センター 中研修室	6
H25 小規模事業者活性化補助金個別相談会	8. 6	とちぎ産業交流センター 310号室	6
H25 補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業個別相談会（第1回）	2. 3	大田原商工会議所	6
（第2回）	2. 7	小山商工会議所	13
（第3回）	2. 10	とちぎ産業交流センター 大研修室	21
（第4回）	2. 14	足利商工会議所	23
（第5回）	2. 18	佐野商工会議所	16

(13) 産業振興ネットワーク運営事業

振興センターを中核的支援機関とする33の支援機関相互の情報交換を行うとともに、部会による具体的な支援事業の展開や調査・研究を行った。

- ・スタッフ会議 9月19日、3月12日
- ・部 会 資金調達支援部会 11月30日
研究開発支援及び販路開拓支援合同部会
11月15日、11月29日、12月5日、2月19日
創業支援部会 10月17日、11月3日

3 海外ビジネス支援事業

海外ビジネスに取り組む県内中小企業を支援した。

(1) 貿易相談事業【再掲】

海外に取引を拡大しようとする企業のための相談事業を実施した。

(2) 外国出願支援事業

地域中小企業の優れた技術等を外国において広く活用するための外国出願（特許、実用新案、意匠、商標、冒認対策商標）に要する経費の一部を助成した。

(3) 海外ビジネス情報提供事業【新規】

ジェットロや中小企業基盤整備機構等から発信されるセミナー・海外展示会等海外ビジネスに関する情報を収集し、振興センターのホームページ等により情報発信した。

(4) 海外ビジネスセミナー開催事業【新規】

「海外展開を考えている」企業や「海外展開に興味がある」企業を対象に、中小企業基盤整備機構等と連携し、海外の現地情報や海外展開企業の実例等に関するセミナーを開催した。

セミナー名	開催月日	会場	参加者数	内容
第1回 国内セミナー (対象国 ベトナム)	7. 23	とちぎ産 業交流セ ンター大 研修室	28	・ ベトナムの最新経済・投資情勢と進出時のポイント ・ 海外進出体験談 ～なぜベトナムなのか？なぜベトナム人なのか？～』
第2回 国内セミナー (対象国 タイ)	9. 13	とちぎ産 業交流セ ンター大 研修室	21	・ タイの最新経済・投資情勢と進出時のポイント ・ 海外進出体験談 ～中国からタイへ～
第3回 国内セミナー (対象国 フィリピン)	10. 29	とちぎ産 業交流セ ンター大 研修室	16	・ フィリピンの最新経済・投資情勢と進出時のポイント ・ 海外進出体験談 ～南国の楽天的な気質で、如何にリスクを軽減するか？～
第4回 国内セミナー (対象国 ベトナム)	1. 31	とちぎ産 業交流セ ンター大 研修室	35	・ ベトナムの経済・投資環境と日系企業の進出動向 ・ ベトナム投資環境視察ミッション 事前説明会
海外セミナー (対象国 ベトナム)	2. 24～28	ベトナム	14	・ ベトナム投資環境視察ミッション ホーチミン市内工業団地（栃木県内からの進出企業、日系企業、レンタル工場訪問）

4 重点5分野の産業振興

(1) とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業（特定振興産業分野助成事業）

特定産業振興協議会又はフードバレーとちぎ推進協議会の会員である中小企業者等が行う技術の高度化、新技術・新製品の開発、販路開拓のために要する経費の一部を助成した。

助成状況

No.	企業名	事業区分	事業名称	交付決定額 (千円)
1	(株)大都技研	技術高度化助成事業	パーム油廃液処理への油水分離技術導入効果の調査研究と適正技術の開発・改良	5,000
2	アークテック(株)	技術高度化助成事業	航空機部品の製造を目的とした「新型積層金型」の開発	4,895
3	(株)井上製作所	技術高度化助成事業	関節拘縮シミュレータ(肘、膝、股及び足首関節の可動域制限装置)の開発	1,719
4	(株)アイ電子工業	販路開拓助成事業 (品質)	医療機器 ISO13485 認証取得	1,329
5	(株)アサバ	販路開拓助成事業 (品質)	食品安全マネジメントシステム ISO22000 の構築と認証取得	1,500
6	(株)バンテック	販路開拓助成事業 (展示)	アメリカ冷凍空調関連販路開拓「AHR-EXPO2014 展示会」出展	1,500
7	(株)TANOI	販路開拓助成事業 (展示)	第4回医療機器開発・製造展「MEDIX」出展による、他分野医療機器メーカーへの販路開拓	1,095
8	(株)井上製作所	販路開拓助成事業 (展示)	「国際モダンホスピタルショウ2013」出展事業	1,159
9	(株)タスク	販路開拓助成事業 (展示)	第4回医療機器開発・製造展「MEDIX」出展	1,500
10	(株)鎌田スプリング	販路開拓助成事業 (展示)	「国際モダンホスピタルショウ2013」出展(医療実習用教材等医療関連補助物品の販路開拓)	564
11	松井電器産業(株)	販路開拓助成事業 (展示)	電気自動車開発技術展「EV EX 2013」への出展 ※自社開発製品『EV/PHV 多機能充電タワー』の展示・販路開拓	978
12	笠原産業(株)	販路開拓助成事業 (展示)	栃木県産小麦「イワイノダイチ」及び「ゆめかおり」を使用した商品の販路開拓(FOODEX JAPAN 2014 出展)	838
13	(有)深澤製餡所	販路開拓助成事業 (展示)	国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN 2014」出展によるオリジナル手づくり餡等の販路開拓	965
14	日光ゆば製造(株)	販路開拓助成事業 (展示)	「第17回ファベックス2014」出展事業	810
	計			23,852

(2) 現場改善講師派遣事業

特定産業振興協議会及びフードバレーとちぎ推進協議会の会員企業に対し大手企業の専門職員等を派遣し、生産管理など現場改善の指導を実施した。

No.	企業名	派遣決定年度	改善テーマ	派遣回数
1	(株)三洋製作所	H23	三洋生産方式の確立	7
2	協立機興(株)	H23	・ 2Sを行い、ムダを排除し、現場の見える化の推進 ・ 生産性の向上 ・ 人財を育成し、現場力の底上げ	4
3	オグラ金属(株)	H23	全社O P S (オグラプロダクトシステム) 活動のレベルアップ	4
4	(株)古口工業	H23	工程間の繋ぎ改善による在庫削減	5
5	(有)大垣ダイカスト工業	H24	生産性の向上と従業員の意識改革	12
6	(株)サカエ工業	H25	お客様に喜びと驚きを与えるものづくり工場への進化	11
7	(株)マツモトセイコー	H25	生産性改善	11
8	(株)共栄デザイン	H25	製造プロセス改善による生産性向上	10
9	イトウ工業(株)	H25	I S O取得に向けた作業環境の改善	10

(3) とちぎ産業振興プロジェクト推進事業

自動車関連の大手企業と中小企業のマッチングを図り、県内中小企業の販路開拓と新たな自動車関連技術の研究開発を促進するため、技術展示商談会を開催した。

- ・ 開催時期 平成25年8月6日
- ・ 開催場所 富士重工業(株) (群馬県太田市)
- ・ 出展企業数 47社
- ・ 来場者数 330人

(4) 成長産業振興・発展対策支援事業 (広域)

栃木県、茨城県及び群馬県の広域で策定した首都圏北部地域産業集積活性化ビジョンに基づき、広域連携により産業集積の形成及び活性化を目指した研究会を開催した。

研究会名	開催月日	会場	参加者数	内容
医療現場の課題・ニーズ研究会	9.11	自治医科大学地域医療情報研修センター	36社・団体(48名)	○「関東経済産業局における医療機器産業振興策について」(関東経済産業局ヘルスケア産業室長高崎宏和氏) ○はままつ発モノ作り～光と医療の融合～(浜松医科大学産学官共同研究センター長山本清二教授) ○自治医科大学からのニーズ紹介(テーマ)

研究会名	開催月日	会 場	参加者数	内 容
第1回 次世代自動車研究会	10.8	とちぎ産業交流センター大研修室	35社・団体(50名)	○「日本の自動車ビジネスの革新について～予防安全技術動向、グローバル化へのTier1/Tier2の対応～」(一社)日本自動車部品工業会技術担当顧問今井英二氏)
第1回 医療・介護ロボット研究会(第2回は北関東産官学研究会で開催)	9.25	栃木県足利庁舎401会議室	22社・団体(27名)	○「経済産業省の最近のロボット産業政策について」(経済産業省産業機械課課長補佐北島明文氏) ○「支援機器開発・普及の取組と期待」(国立障害者リハビリテーションセンター研究所障害工学研究部長小野栄一氏)
第2回 次世代自動車研究会	1.22	とちぎ産業交流センター大研修室	44社・団体(66名)	○「自動車技術の最新動向」(日産自動車(株)技術企画部シニアエンジニア西内徹氏) ○「日産自動車(株)栃木工場の取り組み～Infiniti Challenge～」(日産自動車(株)栃木工場 総務部長永水克欣氏)

5 フードバレーとちぎの推進

(1) フードバレーとちぎ農商工ファンド活用助成事業

中小企業者等と農林漁業者との連携体による新商品等の開発、創業、販路開拓等に要する経費の一部を助成した。また、支援機関における農商工連携体の取組を支援するために要する経費の一部を助成した。

助成状況

No.	連携体等名	事業区分	事業名称	交付決定額(千円)
1	(株)白相酒造 那須南農業協同組合	新商品等開発 支援事業	栃木県産「栗」を使用した「栗焼酎」をベースとした「栗リキュール」の開発及び効果的なデザインの開発	600
2	栃木乳業(株) ま〜るかめ農園	新商品等開発 支援事業	ユウガオ果実の食感を活かしたヨーグルトの開発	609
3	(有)岩上商店 渡辺 清	新商品等開発 支援事業	大田原市特産ウドの緑葉エキスを配合する甘酒の開発	1,596
4	こいしや食品(株) (有)山口農園 (株)前田牧場 古谷農産	新商品等開発 支援事業	県産納豆小粒と干瓢を原料とした商品開発と食育	1,439
5	(有)グルメコング (株)スズキプレシオン 麦島農園	新商品等開発 支援事業	新里ネギ加工食品創出による新里ネギ及び新里ネギ生産地域のブランド化事業	2,490

No.	連携体等名	事業区分	事業名称	交付決定額 (千円)
6	(有)釜屋 サンファームオヤマ(有)	販路開拓支援 事業	「栃木市産トマト入りハヤシライ スのレトルト商品セットの販路開 拓」 【展示会名】第50回大阪インタ ーナショナルギフトショー2013 秋	1,977
7	(株)野州たかむら 渡辺 清	販路開拓支援 事業	大田原市特産ウドの緑葉エキスを 配合する「与一くんウド飴」の販 路開拓	1,989
8	(株)ユーズプロセス 丸福農園	販路開拓支援 事業	「にっこり梨をはじめとした県産 農産物を活用したフルーツゼリー の販路拡大」	1,576
9	(株)スクラムフーズ 山野井農園	販路開拓支援 事業	「栃木県産農産物を原材料とした 他にない「トマトジャム」の販売」	1,586
10	(有)坂巻林産 高橋養鶏場	技術高度化 支援事業	「燻製玉子加工未完成技術の確立 及び高品質の追求化」	1,842
11	(公財)栃木県農業振 興公社	農商工連携支 援機関助成事 業	①農業ビジネス創出推進事業 ②いちごプロジェクト推進事業 販路拡大支援事業	650
12	栃木県中小企業団体 中央会	農商工連携支 援機関助成事 業	平成25年度農商工連携人材フォロ ーアップ事業 ①農商工連携人材集中研修事業 ②農商工連携人材活用モデル支援 事業	1,107
13	(公財)栃木県産業振 興センター	農商工連携支 援機関助成事 業	①アグリフード EXPO 東京 2013 へ の出展 【出展企業】笠原産業・(株)白相酒 造・(有)釜屋・(株)スクラムフーズ・ (株)野州たかむら・月星食品(株) ②スーパーマーケットトレードシ ョー2014 への出展 【出展企業】月星食品(株)・(株)白相 酒造・(有)釜屋・(有)とん太ファミリ ー・(株)横倉本店	1,525
14	(株)もてぎプラザ 三村卓久	新商品等開発 支援事業	茂木町特産エゴマの葉を使った機 能性紅茶“ジュウネンもて茶”の 開発	1,663
15	(株)すが野 下野農業協同組合	新商品等開発 支援事業	壬生町産の新たな地域農産物“壬 生菜”を使った漬物の新商品開発	1,412
16	金田果樹園 荒牧りんご園 栃木マイクロブルワ リー (株)横倉本店	新商品等開発 支援事業	フルーツビールの新商品開発～完 熟のにっこり梨・りんご・苺・ぶ どう・桃果汁を用いて～	1,885
17	カクヤス商販(株) 常盤農園	新商品等開発 支援事業	ジャンボむかごの粉末の開発およ び粉末を使った加工品の開発	1,583
18	(有)林屋川魚店 (株)山光	技術高度化 支援事業	木質バイオマスボイラーの廃熱を 利用した鰻養殖	5,000

No.	連携体等名	事業区分	事業名称	交付決定額 (千円)
19	(有)大地 農業生産法人(株)大地 のかほり	技術高度化支 援事業	省力的野菜生産システムの開発事 業	5,000
計				35,529

(2) フードバレー「売れる」商品づくり支援事業

新商品の企画段階から商品開発、商品化、販売に至るまで、食品流通の専門家のアドバイスにより、「売れる」商品づくりを支援した。

① 無料相談会

回	開催月日	相談企業数	主な相談事例
1	7. 4	14	○ 主な相談商品 ・ゆばうどん・氷温そば ・日光とろゆば ・宇都宮ねぎにら辛みそ ・人参ヨーグルト ・極上つけ麺 ・夕顔の実ヨーグルト
2	11.28	13	○ 主な相談商品 ・五年味噌の大根・一本漬けハーフサイズ ・四代目がんこラーメン ・グアバ茶 ・野菜のつくだ煮 ・オリーブヤシオマス ・若摘み豆苗 ・ニラドレッシング他 ・野州支那そば
<p>○ 事業内容等</p> <p>「売れる」商品にするにはどうしたら良いかという相談に対し、新日本スーパーマーケット協会の登録専門家が商品を吟味し、支援が可能な商品であるか否かを判断した。</p> <p>支援が可能な商品については個別に継続支援とし、支援が不可能な商品については商品開発、販路開拓等に関する留意点について登録専門家がアドバイスシートを作成し、当該相談企業にフィードバックしている。</p> <p>アドバイスシートは、第1回が8社、第2回が2社の計10社に送付した。</p>			

② 個別支援

支援企業数 (回)	主 な 支 援 事 例
<p>商品・24社 (うち継続 10商品・10社)</p> <p>58回 (うち継続24回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ バニラフレーバーの新商品ヨーグルト 製造工程での留意点、営業に必要な企画書や販売促進計画、社内体制、スケジュールについて指導。 ○ 栃木三鷹を用いた調味料 専門家に商品特徴やコンセプトを指導いただいたことで、パッケージデザインやネーミングなど、魅力ある商品が開発された。 ○ ナチュラルフルーツソース他 社長の要望は小売用の拡販。こだわり商品のネーミングが課題。個人向けDMづくりやラベル(料理名のシール対応等)の支援が行われ、DM発送の段階まで至った。 ○ しいたけ商品 加工食品業界へは参入したばかりの体制であり同業界の経験が少なかった。専門家より、まずは目指す商品市場の現状把握から指導を受け始めた。商品コンセプトや製造委託先の助言を得て実行したことにより、新商品が完成した。 ○ 日光とろゆば 専門家の助言通り、青果バイヤーに提案したところ、ヨークベニマルとオータニで採用になった。新商品開発中の「日光とろゆば」のパッケージ等改善により、首都圏高級百貨店での販売も期待される。 ○ 極上つけ麺 新規販路について一応の目安が確定した(平成26年1月より取引開始)。目標に掲げた商品開発ができ、今後の開発手法を学べた。今後は、新規販路の販売店へのアプローチ強化や市場変化と売場環境に合った商品提案に努める。特許申請も26年4月に実行する。 ○ キャンディシロップ 工場の生産性向上(作業改善・意識改革)や受注体制に課題があることが専門家により発掘されたため、5S運動を実行し、生産性向上に繋がる作業改善がスタートした。次のステップとして作業量把握と作業内容の整理、製造原価の把握、目標設定を行うこととなった。事業者の前向きな取り組みもありさらなる改善が期待される。
<p>上記のように、継続支援となった案件について、商品開発のブラッシュアップ及び販路開拓等へのアドバイスを行っている。</p>	

③ 販売サポート

回	開催月日	相談企業数 バイヤー数	主 な 相 談 事 例
1	7.25	8企業 3社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主な相談商品 <ul style="list-style-type: none"> ・とちぎにっこり梨サイダー、にっこり梨ゼリー ・栃木県産干し芋、栃木県産たけのこ水煮 ・本格焼酎、栃木三鷹を用いた調味料 ・佐野名水ソース、佐野にんにくソース、プレミアムフルーツソース ・CANDYPASTE、あめやの甘味料、べっこう飴

回	開催月日	相談企業数 バイヤー数	主な相談事例
2	10. 3	8企業 3社	○ 主な相談商品 ・野菜としいたけの匠カレー、しいたけマーボー ・おあげのメンチ ・唐辛子山椒みそ、しば漬け玉ねぎ ・国産経木鈴丸納豆、足利の大豆と水で作った納豆 ・粗挽二八そば ・足利産ゆず使用ゆずヨーグルト ・蔵の街のむヨーグルト
3	1. 17	8企業 2社	○ 主な相談商品 ・甘酒、小豆甘酒、塩糰 ・特選刺身ゆば、半熟たまご、日光きざみゆば、 ・にんじんのドレッシング ・とちぎ地鶏美しゃも、ヤシオポーク、こだわりレアチーズケーキ ・オリーブヤシオ（味噌漬、粕漬、西京漬、冷燻スライス） ・乾燥舞茸、乾燥きくらげ、舞茸水 ・有機 JAS ほしいも、特別栽培水煮タケノコ ・栃木県日光産そば粉のそばぎょうざ
○ 事業内容等 新日本スーパーマーケット協会のコーディネーターが、スーパーマーケット等の3企業のバイヤーと参加企業との商談を実践させ、商品や商談の進め方についてバイヤーからのアドバイスをコーディネートした。			

(3) フードバレー販路開拓支援事業

全国に向けて県産品の販路開拓・拡大を支援するため、東京圏において開催される展示商談会への出展を支援した。

- ・ 展示会名 第48回スーパーマーケットトレードショー2014
- ・ 期 日 平成26年2月12日～14日
- ・ 会 場 東京ビッグサイト
- ・ 出展企業数 19社

(公2) 中小企業の経営革新等に関する諸事業

6 経営基盤の強化

(1) 研修事業

県内企業に対する実践的ビジネス講座として、経営管理、生産管理及びISOに関する研修会・講演会を実施した。

また、青年経営者の育成を図るため、長期研修（9か月）による「経営リーダー育成塾（第8期生）」等を実施した。

① 経営管理研修

No.	講 座 名	日数	開催月日	定 員	受講者数
1	経営実務研究会	1	7. 8	50	28
2	経営リーダー養成講座	2	6. 27 7. 24	30	29
3	セールスマネージャー能力開発講座	1	8. 27	100	46
4	経営戦略講座	1	2. 25	50	36
5	I T活用支援研修	1	1. 21	30	61
6	B C P策定支援セミナー（基礎）	1	6. 19	100	60
7	B C P策定支援セミナー（実践）	3	7. 29 9. 17 12. 2	10企業	8企業 24

② 経営人材育成研修

No.	講 座 名	日数	開催月日	定 員	受講者数
1	経営管理人材育成研修	2	6. 5～ 6	30	11

③ 技術セミナー

ア I S O講座

No.	講 座 名	日数	開催月日	定 員	受講者数
1	ISO9000s 内部監査員養成講座①	2	7. 30～31	24	31
2	ISO9000s 内部監査員養成講座②	2	9. 10～11	24	32
3	ISO9000s 内部監査員養成講座③	2	9. 24～25	24	31
4	ISO9000s 内部監査員養成講座④	2	10. 8～ 9	24	31
5	ISO9000s 内部監査員養成講座⑤	2	11. 12～13	24	25
6	ISO14001 内部監査員養成講座①	2	7. 11～12	24	31
7	ISO14001 内部監査員養成講座②	2	8. 1～ 2	24	27
8	ISO14001 内部監査員養成講座③	2	9. 5～ 6	24	35
9	ISO14001 内部監査員養成講座④	2	10. 24～25	24	26
10	ISO14001 内部監査員養成講座⑤	2	11. 21～22	24	36
11	ISO22000 食品安全マネジメントシステム入門講座	2	11. 5～ 6	24	中止

イ 生産管理講座

No.	講 座 名	日数	開催月日	定 員	受講者数
1	原価管理とコストダウンの実践	2	6. 20～21	30	21
2	購買原価革新セミナー	2	8. 8～ 9	30	16
3	品質改善実習セミナー	2	8. 19～20	30	22
4	実践 5 S の進め方	2	10. 2 11. 7	30	24
5	I E 技法による現場改善の進め方	3	10. 23～24 11. 22	30	10
6	製造現場革新のための C-TPM	1	1. 17	30	12

④ 後継者育成研修

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	経営リーダー育成塾(第8期生)	26	6.7～2.15	20	17
2	経営リーダー育成塾OB研修①	1	8.23	20	16
3	経営リーダー育成塾OB研修②	1	11.8	20	11

⑤ 経済講演会（経済団体新春経済実行委員会主催事業）

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	経済団体新春経済講演会	1	1.28	600	495

合計（28講座）	75	1,504	1,244
----------	----	-------	-------

(2) ものづくり中小企業技術者育成事業

県内の中小ものづくり企業に、雇用環境が厳しい離職者・未就職卒業者等を雇用して技術・技能を習得させる研修の実施を委託することにより、ものづくり技術者の育成・確保を支援した。

業種	食料品製造業	飲料・たばこ・飼料製造業	印刷・同関連業	金属製品製造業	生産用機械器具製造業	電子部・デバイス・電子回路製造業	電気機械器具製造業	輸送用機械器具製造業	はん用機械器具製造業	業務用機械器具製造業	酒類製造業	計
委託企業数	1	1	1	2	2	2	4	3	1	1	7	25
雇用人数	1	1	1	2	2	1	3	2	1	1	7	22

(3) 情報化支援事業

中小企業が必要とする経営・技術の情報を収集して提供するとともに、情報化への対応を推進するため、各種支援事業を実施した。

- ・メールマガジンの発行 月2回(47回 69, 488件)随時号外
- ・産業振興センターホームページの管理運営 随時

(4) 競争力強化促進事業（専門家派遣）

経営力の向上を目指す中小企業等が抱える経営、技術、情報化等の諸課題について、中小企業診断士等の専門家を派遣し、診断・助言を行った。

派遣企業数（回）	主な支援内容
4社 (14回)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商品企画・商品開発手法の助言 ○ パッケージデザインの助言 ○ 経営改善計画等の助言 ○ 省エネルギー等の助言

7 下請企業振興事業

(1) 受発注取引あっせん事業

県内産業の振興を図るため、受発注企業の設備や加工技術など取引のあっせんに必要な情報を収集し、受発注企業のデータベースの充実を図るとともに、個別の取引あっせんを行うなど下請企業の受注開拓を支援した。

① 受発注取引の登録企業数

発注登録数	受注登録数	合計
1,448	2,784	4,232

② 受発注取引（個別）あっせん状況

発注申込数	受注申込数	あっせん件数
265	468	1,429

③ 受発注取引関係相談件数

発注相談	受注相談	経営相談等	計
200	544	815	1,559

④ 専門員による発注開拓

訪問企業数 961社（うち新規221社）

(2) 受発注情報の提供事業

最新の受発注情報を集積・加工し、中小企業へ受発注情報を発信した。

- ① 産業振興センターホームページ “受発注ニュース” 随時
- ② 産業振興センター情報誌「産業情報とちぎ」“受発注ニュース” 6回（隔月発行）
- ③ 産業振興センターメールマガジン 月2回

(3) 展示・商談会の開催

各種の商談会を開催するとともに、展示会に出展し下請企業の受注の拡大を図った。

回	商談会等名	開催月日	開催場所	参加企業数		商談件数
				受注	発注	
1	復興支援ビジネスマッチング交流会（第1回）	5.23	とちぎ産業交流センター	6	2	7
2	復興支援ビジネスマッチング商談会	7.12	ホテル東日本宇都宮	131	43	489
3	関東5県ビジネスマッチング商談会	9.4	東京ビッグサイト	189 (41)	65 (5)	774 (145)
4	復興支援ビジネスマッチング交流会（第2回）	10.29	とちぎ産業交流センター	3	1	3
5	スマートエコ商談会	11.5	とちぎ産業交流センター	33	1	43
6	ものづくり企業展示・商談会	11.14	マロニエプラザ	193	29	309
7	復興支援ビジネスマッチング交流会（第3回）	12.3	とちぎ産業交流センター	6	2	9

回	商 談 会 等 名	開催月日	開 催 場 所	参加企業数		商 談 件 数
				受注	発注	
8	復興支援ビジネスマッチング交流会（第4回）	1.28	とちぎ産業交流センター	11	2	12
9	彩の国ビジネスアリーナ	1.29 ～30	さいたまスーパーアリーナ	5		
10	復興支援ビジネスマッチング交流会（第5回）	2.13	とちぎ産業交流センター	11	3	12

注1：3. 関東5県ビジネスマッチング商談会 参加企業数、商談件数の（ ）内の数字は本県参加企業の実績である。

注2：6. 「ものづくり企業展示・商談会」は、足利銀行主催、県内信用金庫・信用組合共催による展示・商談会に特別協力団体として参加した。

注3：9. 彩の国ビジネスアリーナ 参加企業（発注）、商談件数は展示会出展のため実績なしである。

(4) 中小企業動向調査

販路開拓・拡大の参考とするため、登録受発注企業の景況等についてアンケート調査を実施した。

① 前期調査

- ・実施期間 平成25年7月5日～7月24日
- ・調査対象企業数 発注企業117社、 受注企業583社、 計700社
- ・回答企業数（回答率） 発注企業 32社（27.4%）
受注企業 125社（21.4%）
計 157社（22.4%）

② 後期調査

- ・実施期間 平成26年1月6日～1月24日
- ・調査対象企業数 発注企業118社、 受注企業582社、 計700社
- ・回答企業数（回答率） 発注企業 23社（19.5%）
受注企業 231社（39.7%）
計 254社（36.3%）

(5) 展示商談会セミナーの開催【新規】

展示商談会の成功に重要な要素となる技術・製品の見せ方、説明・表現の仕方、表し方等のアピールを適切に行うことが重要であることから、そのノウハウを習得するため、専門家によるセミナーを開催した。

セミナー名	開催月日	会 場	参加者数	内 容
展示商談会で成果をあげる効果的な方法	4.22	とちぎ産業交流センター	78	事前準備、実施、事後フォローの要点に関する講義 講師：辻井 勝 氏

8 知的財産支援事業

(1) 特許等取得活用支援事業

知財相談員（窓口担当1名、地域担当2名）を配置し、中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できるよう支援するとともに、アイデア段階から事業展開までの一貫した支援を行った。

① 利用者数

来訪：305人 訪問：331人 外部窓口（商工会議所）：115人
電話・Eメール・FAX：290人 計：1,041人

② 相談件数

	特許	実用新案	意匠	商標	その他	計
センター窓口	725	413	405	644	96	2,283
1日知財相談窓口	53	13	10	45	5	126
計	778	426	415	689	101	2,409

③ 企業訪問による支援 191社 385回

④ 知財専門家派遣による支援 12社 12回

⑤ 知財コンダクター（登録弁理士マッチング） 0回

(2) 自治体知財コーディネート事業

中小企業の特許流通、技術移転や知的財産支援策などの普及・啓発を図るとともに、中小企業等における知的財産活用及び事業化を支援した。

① 企業訪問指導件数 61件

② 来訪者面談指導件数 96件（来所：29件、電話・メール・FAX：67件）

③ 契約件数（実施許諾契約） 0件（契約に関するアドバイス 5件）

(3) 特許情報利用促進事業

特許電子図書館情報の利用促進に向けた普及啓発を図るとともに、県内の企業や研究者に対して特許情報検索や利用に関する支援を行った。

① 特許電子図書館による特許情報の閲覧提供及び検索指導 438件

② 企業訪問による特許情報活用指導 385件

③ 特許情報活用普及説明会 3回

④ 技術シーズ・ニーズ等の情報収集・提供 179件

(4) 外国出願支援事業【再掲】

地域中小企業の優れた技術等を外国において広く活用するための外国出願（特許、実用新案、意匠、商標、冒認対策商標）に要する経費の一部を助成した。

助成状況

種別	企業名	出願内容	出願先	助成額 (千円)
特許	(株)スズテック	育苗箱自動供給装置	韓国、中国	669
	(株)オプトニクス精密	安全弁および電気化学素子	米国、欧州、韓国、中国	1,150
	マイコール(株)	発熱体	カナダ、中国	658
	ファンテック(株)	シャフト式クロスファン及びその製造方法	インド、インドネシア、韓国、タイ、中国	636
	(株)中村製作所	低振動形フローティングメタルベアリング	米国、中国、インド	741
	日光金属(株)	表面改質処理方法、表面改質処理装置及び浸炭炉用部材	カンボジア、タイ、中国、メキシコ	1,245
商標	日光金属(株)	N I M A	カンボジア、タイ、中国、メキシコ	498
	(株)タスク	N A N O J E C T	米国、欧州連合、オーストラリア、中国、カナダ	197
計				5,794

(公3) 高度技術の開発及び利用の促進

9 技術の高度化

(1) 産学官連携研究開発事業

○ 戦略的基盤技術高度化支援事業

中小企業のものづくり基盤技術（ casting・切削・めっき等）の高度化を目指し、産学官により取り組む革新的な研究開発について、事業管理法人として円滑な推進に努めた。

テーマ1 「接合界面活性化と同時鋳込みによる超耐熱耐摩耗複合鋳鋼材の開発」

- ・ 実施期間 平成23年度～平成25年度
- ・ 研究機関 日光金属(株)、宮本工業(株)、岩手大学

テーマ2 「電気鋳造技術を利用した電子・医療分野に向けた世界初の高精細フィルターの開発」

- ・ 実施期間 平成25年度～平成27年度
- ・ 研究機関 (株)オプトニクス精密、東北大学 金属材料研究所

テーマ3 「高機能多結晶ダイヤモンド工具の高生産性・低コスト化技術を支援するための、大型焼結体製造技術と工具形状成型技術の開発」

- ・ 実施期間 平成25年度～平成27年度
- ・ 研究機関 トーメイダイヤ(株)、日本工業大学、栃木県産業技術センター

(2) 高度技術振興事業（サポートユアビジネス事業）

高度技術産学連携地域（宇都宮市、鹿沼市、真岡市、日光市、下野市、上三川町、芳賀町、壬生町、高根沢町）内の中小企業等の新技術・新製品開発を支援した。

助成状況

	企業名	事業概要	交付決定額 (千円)
1	(株)ソフトシーデーシー	センサ統合による行動把握と活動支援システムの作成	1,450
2	すがたかたち 高橋牧子	新市場を開拓する、創造的デザインの木製ドア 把手、手すりの開発	1,400
3	帝京大学理工 学部	微生物観察衛星“TeikyoSat-3”プロジェクトに おけるミッションモジュールの設計開発	699
計			3,549

(3) 地域技術起業化推進事業

① サポートユアビジネス事業

高度技術産業連携地域外の中小企業が実施する新技術・新製品開発に要する経費の一部を助成した。

助成状況

No.	企業名	事業概要	交付決定額 (千円)
1	(株)錦エンジニアリング	県産黒にんにくを用いた「“とちのう”ブランド 商品」の開発	63
2	(有)小貫光学工業 所	光学膜を利用した釣れるルアーの開発	200
3	(株)ニチヨー	高齢者に優しく・体に負担の少ないグランド・ ゴルフ用クラブの開発	903
計			1,166

② 起業化普及・交流事業

各種支援制度と県内大学等の技術力を活用した県内中小企業の事業化促進を目的として支援制度の説明会及び補助金活用のための個別相談会を開催した。

助成状況

No.	説明会名	開催月日	会場	参加者数
1	研究資金獲得・産学交流セミナー（県北会場）	11.15	国際医療福祉大学	17社・団体 (21名)
2	研究資金獲得・産学交流セミナー（県南会場）	11.29	足利工業大学	30社・団体 (39名)
3	研究資金獲得・産学交流セミナー（県中央会場）	12.5	宇都宮大学	49社・団体 (60名)
4	国の新たな経済対策に係る施策説明会	1.31	産業創造プラザ多目的ホール	152社・団体 (202名)
5	新技術・新製品開発や新事業展開等に関する国・県・振興センターの支援制度説明会	2.19	産業創造プラザ多目的ホール	117社・団体 (145名)

(4) 世界一を目指す研究開発助成事業

県内ものづくり企業や理工系大学等高等教育機関の若手研究者(40歳未満)が行う開発を支援し、県内ものづくり産業の振興と人材育成を図った。

助成状況

No.	交付の相手方 代表研究者	研究開発テーマ	交付決定額 (千円)
1	小山工業高等専門学校 加藤岳仁(助教)	「実用化に向けた高効率光電変換シートの開発」	700
2	小山工業高等専門学校 高屋朋彰(助教)	「バイオマス資源を用いた環境低負荷型植物性培地の開発」	650
3	宇都宮大学大学院 工学研究科 星野智史(准教授)	「人がロボットをロボットが人を制御する群知能ロボットシステムの開発」	650

Ⅱ 収益事業等

(他1) 小規模企業者等設備導入資金事業等の未収債権回収事業

1 小規模企業者等設備導入資金事業

小規模企業者等の設備導入に対する設備資金の貸付及び設備の貸与（割賦・リース）事業の債権管理業務を実施した。

【事業実績】

- | | |
|----------------------|----------|
| (1) 資金利用企業に対する事後指導 | 40件 |
| (2) 資金利用企業に対する利用状況調査 | 68件（年1回） |
| (3) 資金利用企業の債権管理 | 随時 |

2 債権状況

【正常債権】

資金区分	平成25年度期首		平成26年3月末	
	件数	残高(円)	件数	残高(円)
設備資金貸付事業	57	257,555,000	42	165,805,000
設備貸与事業(割賦)	7	11,451,000	0	0
(リース)	32	236,441,600	26	148,433,100
計	96	505,447,600	68	314,238,100

【延滞債権】

資金区分	平成25年度期首		平成26年3月末	
	件数	残高(円)	件数	残高(円)
設備資金貸付事業	1	2,702,000	0	0
設備貸与事業(割賦)	1	11,751,958	1	10,644,358
(リース)	2	14,196,280	2	30,412,280
中小企業設備貸与事業(割賦)	1	5,549,174	0	0
計	5	34,199,412	3	41,056,638

小規模企業者等設備導入資金利用企業に対する事後指導や調査を実施するなど適切な債権管理に努めるとともに、延滞債権については、債務者及び連帯保証人への訪問調査・督促を行うことにより早期回収に努めた。

(他2) 産業情報の収集、提供事業（機関情報誌発行）

1 センター会員管理事業

センター会員を対象に次の各種情報提供・支援事業を行った。

- (1) 情報誌「産業情報とちぎ」の発行 6回（隔月）
- (2) メールマガジンの発行 47回（月2回）随時号外
- (3) 視聴覚教材の貸出 20件（随時）
- (4) 会員講演会（プラザのつどい）の開催

開催月日： 8月26日 参加者数：127人

※ とちぎ産業創造プラザ開設10周年記念「プラザのつどい」の一環として実施した。

会期 8月26日～8月31日

【会員数の推移】

区 分	平成25年 4月1日現在	新規加入	退 会	平成26年 3月末現在
正 会 員	367	18	13	372
賛助会員	79	0	3	76
合 計	446	18	16	448

Ⅲ 庶務事項

1 役員の就任

月 日	内 容
4月15日	監事 高橋 茂 栃木県信用保証協会専務理事（新任）
6月27日	評議員 渡辺 敏雄 (株)栃木銀行専務取締役（辞任）
7月10日	評議員 菊地 正敏 (株)栃木銀行専務取締役（新任）
7月12日	監事 横山 宏治 (株)商工組合中央金庫宇都宮支店長（辞任）
8月30日	監事 萩野 靖 (株)商工組合中央金庫宇都宮支店長（新任）
3月31日	評議員 大平 弘 (株)足利銀行専務執行役（辞任）
	〃 小林 一巳 栃木県産業労働観光部長（辞任）
	理事 倉持 和司 (一社) 栃木県商工会議所連合会専務理事（辞任）
	〃 長嶋 敏夫 栃木県商工会連合会専務理事（辞任）
	〃 矢口 季男 (一社) 栃木県中小企業診断士会会長（辞任）
	〃 山口 敏之 栃木県産業労働観光部次長兼産業政策課長（辞任）

2 会議の開催

月 日	内 容
4月15日	第1回評議員会（書面）を開催 監事の選任
6月 5日	第1回理事会を開催 平成24年度事業報告の承認、平成24年度決算報告書の承認、評議員会の開催の開催
6月21日	第2回評議員会を開催 平成24年度事業報告、平成24年度決算報告
7月10日	第3回評議員会（書面）を開催 評議員の選任
8月30日	第4回評議員会（書面）を開催
9月 9日	第2回理事会を開催 平成25年度事業計画の変更の承認、平成25年度収支予算の補正の承認
11月 6日	第3回理事会を開催 平成25年度収支予算の補正の承認、評議員会の開催の承認、平成25年度事業及び予算の執行状況の報告
11月21日	第5回評議員会の開催 平成25年度収支予算の補正、平成25年度事業及び予算の執行状況の報告
3月 5日	第4回理事会を開催 平成26年度事業計画（案）の承認、平成26年度収支予算（案）の承認、評議員会の開催の承認
3月20日	第6回評議員会の開催 平成26年度事業計画、平成26年度収支予算の報告